



(様式第1号)

平成 28 月 5 月 25 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : ⑥心理・社会的支援の領域
 科 目 名 : ⑥-3 地域に対するプログラムの企画
 単 位 数 : 2 単位
 認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人長野県介護福祉士会
 団体事務所の所在地 : 〒 380-0928
長野県長野市若里 7-1-7
 電話 : 026-223-6670
 FAX : 026-223-6679
 E-mail : sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : (公社) 長野県介護福祉士会
会長 畠山仁美
 申請責任者 : 酒井 良育



記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	心理・社会的支援の領域	
科目名	地域に対するプログラムの企画	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステムにおける介護の位置や役割を理解させ、連携の視点を形成させる。 ・自分の地域における家族支援、地域連携、地域資源開発などの具体的な取り組みを学習し、地域の課題やニーズに応じた自職場のプログラムを企画させる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの考え方、政策や制度の枠組み、推進・連携の仕組みについて説明できる。 ・自分の地域の地域ケアシステム構築の取り組みの現状と今後の課題を踏まえ、自職場の立ち位置や役割、今後の活動方針について説明できる。 ・地域の課題やニーズに応じた家族支援、地域連携、地域資源開発、介護職への研修支援などのプログラムを企画できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステムの考え方と構築にむけた課題 <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療（認知症医療を含む）、地域リハビリテーション、生活支援サービスの開発と多様な地域資源・活動の開発、ニーズに応じた住まいの確保・マッチングと住まい方の支援等 ○自分の地域における地域ケアシステム構築の課題等の把握と等の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業計画の分析と今後の地域の課題やニーズの分析 ・地域における家族支援、地域支援、多機関・多職種連携、居住問題等への取り組みや課題の調査 ○地域の課題やニーズを踏まえた家族支援、地域連携、地域資源開発などのプログラムの企画 	<p>★課題学習【事前】（4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師が指定する地域包括ケアシステムに関する文献を読み、内容や疑問点等を要約したり、不明な点を調べておく。 ・自分の施設・事業所のある市町村の介護保険事業計画、地域医療計画を読み、自分の地域で今後発生するニーズ、不足する社会資源、医療-介護連携、認知症や互助等との連携の課題、自職場の役割や事業展開の方向等について、レポートにまとめ提出する。 <p>★1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義（2時間）「地域包括ケアシステムの考え方と構築にむけた課題」…地域包括ケアシステムが政策課題となった背景、医療-介護連携（地域リハ、地域連携バス・退院支援等）、認知症（初期集中支援チーム、認知症ケアパス等）、介護予防・生活支援サービス、居住支援などシステムの構成要素とされるものの内容と課題、そのなかでの介護及び介護福祉士の役割、介護者支援など、全体像を概説。 ○講義ないしは事例報告（2時間）「地域連携の具体的な取り組みの実際」…医療-介護連携、認知症、介護予防・生活支援サービス、居住支援などの事例を具体的に紹介し、その取り組みの実際を学ばせる。 ○講義（1時間）「地域課題の抽出とプログラムの企画」…地域の課題やニーズを踏まえた家族支援、地域連携、地域資源開発などのプログラムの企画の視点・方法について説明する。

⑥-3 地域に対するプログラムの企画

	<p>○演習（3時間）「地域課題の抽出とプログラムの企画」…共通事例に基づいて、地域課題を抽出する視点、自地域を念頭にした今ある資源・不足する資源やプログラムの検討、自職場で取り組むことが考えられるプログラムを検討。個人作業とグループでの相互評価を通して、課題分析からプランを構築する過程を体験的に学ぶ。</p> <p>★課題学習（中間課題）6時間 「自地域の課題を分析したうえでその課題解決にむけた自職場でのプログラムを企画する」（課題を提出）</p> <p>★2日目</p> <p>○講義（1時間） 「課題抽出とプログラム企画の留意点」…参加者が提出した中間課題を踏まえて、課題抽出とプログラム企画における留意点、この後の演習における相互評価の視点を講義。</p> <p>○演習（4時間） 「プログラムの相互評価」…グループに分かれ、受講者が各自企画したプログラムを報告。他のメンバーはその企画に対してよりブラッシュアップさせる視点から批判的に質問・改善提案等を行う。受講者はメンバーからの意見をうけ、当初案の課題をまとめる。</p> <p>○発表とコメント（1時間）…各グループで選んだプログラムをいくつか発表し、講師がさらにプログラム企画の視点・留意点を指摘。</p> <p>○講義（1時間）…「プログラムの実行にむけた合意形成・地域との協働」…プログラムの実施に移していくための組織内の合意形成プロセス、地域との関係づくり、協働などの視点を理解させる。</p> <p>○評価及び解説（1時間）</p> <p>★課題学習（事後課題）4時間</p> <p>・演習で受けた評価に加え、上司・同僚・地域の連携先の専門職や地域住民等からの意見をもらい、プログラムをブラッシュアップし、提出。評価を受ける。評価や意見が反映されていること、ブラッシュアップが適切になされていることを評価の基準とする。</p>
<p>研修方法</p>	<p>■集合研修 ■課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせて行う。 ○課題学習は事前・中間・事後課題としてレポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>
<p>研修時間</p>	<p>30時間（集合研修16時間、課題学習14時間）</p>
<p>修了要件</p>	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分（遅刻、早退それぞれ15分）を上限として認める。（レポート課題なし）1日のプログラムのうち、始めの</p>

⑥-3 地域に対するプログラムの企画

	<p>30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。また、1コマ目を除く各コマにおける遅刻及び最終コマを除く早退については、これを認めない。</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（50問程度）において、A～C評価（100点満点中60点以上）であること。D評価（59点以下）の場合は、再試験を行い、A～C評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I類を修了していること。
修了評価	<p>筆記試験（50問程度）により行い、100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	<p>30名（講師1名）演習時も同じ講師で行う。</p>
開催場所（都道府県）	<p>JA長野県ビル（長野県長野市）</p>

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 30 年 6 月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA 長野県ビル
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 地域に対するプログラムの企画 諏訪徹 氏 日本大学文理学部教授 元全国社会福祉協議会、厚労省社会・援護局総務課社会福祉専門官 認定介護福祉士認証・認定機構理事
	担当する講義等 修了評価 諏訪徹 氏 (日本大学文理学部教授) 履歴等は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	研修委員会 (非常勤: 17 名) 事務局 (担当事務局員、常勤: 4 名)
研修の企画運営に関する 諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	副会長
研修管理責任者氏名	原千香子
機構問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	酒井良育
機構問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
機構問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
受講問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	酒井良育
受講問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
受講問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	長野県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は 10 年間とし、その後は外付けディス

⑥-3 地域に対するプログラムの企画

	<p>クにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。</p>
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都(事務局長)
管理担当者氏名	酒井良育(担当の常勤職員)